

1 ふるさと森林公園の目指す将来像

白鷹町ふるさと森林公園の施設の目的として、**町民保養センター機能と都市との交流の場**としての機能があります。再整備によりこれらの機能をより充実させ、**町内の観光資源等と連携**することにより、第6次総合計画に定めた町の目指す将来像「人、そして地域がつながり輝き続ける 潤いのまち」を推進するため、ふるさと森林公園を**ウェルネスツーリズムの拠点**とします。

ふるさと森林公園の主な機能

町民保養センター	町民の保養や健康増進
都市間交流	宿泊施設として町内の観光地や体験、スポーツ施設等をつなぐ拠点

施設ビジョン

観光

関係人口の増加 / 新たな人の流れ移住・定住 / 雇用

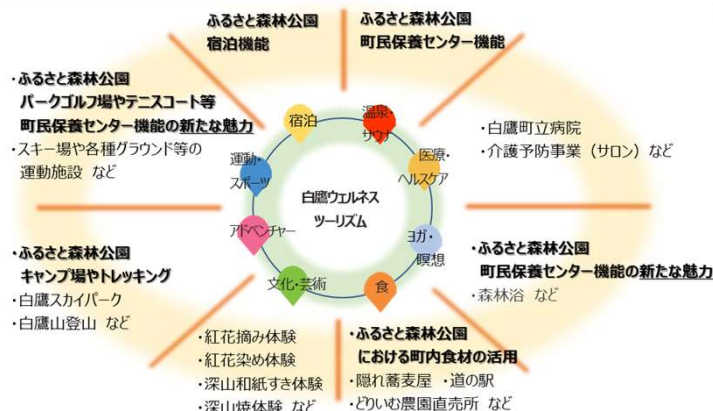
健康

住民満足 / 健康経営心の健康 / 安心安全

地域循環型 白鷹ウェルネスツーリズムの拠点

—ふるさと森林公園の魅力×地域の資源—
町民そして訪れる人のこころとカラダが健康になる施設—

白鷹ウェルネスツーリズムのイメージ図



2 施設整備の基本方針

町民保養センターとして引き続き町民サービスを提供し、持続可能な施設の運営につながるよう、町の責務として必要な老朽化対策を行うとともに、施設の将来像及びビジョン達成のため、以下の4つの基本方針に基づき再整備を行います。

I. 老朽化への対応

- ・建物及び機械設備の老朽化をうけ、次世代へつなげる価値向上へ向けた改修・更新を行います。
- ・保全経費や安全性の観点から、本館棟及び浴室棟の建替えによる集約化・コンパクト化を行います。

II. ウェルネスツーリズムの拠点

- ・保養や健康増進に資する町民サービスの向上と白鷹ウェルネスツーリズムの拠点として必要なスペースを導入します。
- 体を動かすことでリフレッシュできるスペース
- 子育て世代も安心して利用できるスペース
- 白鷹町の自然を体感することかできるスペース

III. デジタル技術の導入

- ・施設利用者の利便性向上や付加価値造成に繋がるデジタル技術を活用します。
- ・施設管理や運営に係るコスト削減に資するデジタル技術を活用します。
- ・アフターコロナやインバウンドに対応するためのデジタル技術を活用します。

IV. 森林資源の活用

- ・本町の目指す「緑の循環システム」の確立に資する「川下対策」として、地域産材を活用するとともに木質バイオマスボイラーを導入します。
- ・立地条件を活かし、森林とふれあえる憩いの場として整備します。

3 施設整備全体計画

町内唯一の町民保養センターであることから、主たる機能である温泉を中心に可能な限り運営を継続しながら、目指す将来像の達成のため必要な整備を進めます。

計画1

老朽度調査の結果等を踏まえ、本館棟、浴室棟そして接続する休憩室棟については、安全性や保全経費の観点から、各機能を集約化・コンパクト化したうえで新たな魅力を付加した町民保養センターとウェルネスツーリズムの拠点となる『ウェルネス棟』として建替えを行います。

計画2

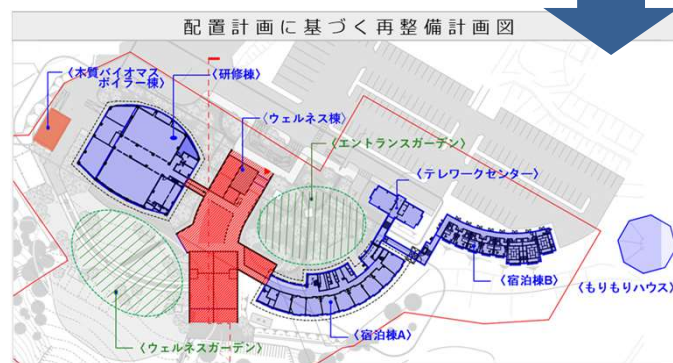
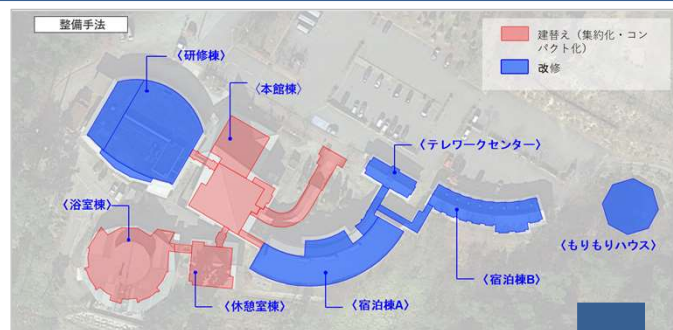
浴室棟については、温泉の運営を可能な限り継続できるよう、現在の建物を残し限られた区画を有効に活用して『ウェルネス棟』を整備し、整備完了後に取り壊しを行います。

計画3

浴室棟の跡地は、これまで男性風呂を中心に一望することができた最上川を含む雄大な景色を、誰もが楽しむことのできる憩いの広場として整備します。

計画4

研修棟や宿泊棟等については、老朽化への対応に加え利便性向上やインバウンドへの対応、ウェルネスツーリズムの実現へ向けた改修を行います。



4 施設の利用目的・機能の視点による整備内容

基本方針に基づき、施設の利用目的や求められる機能にあわせた整備計画は下記のとおりです。

健康増進・レクリエーション

〈ウェルネス棟〉 多様な方の運動ができる屋内施設

- ・多様な方がオールシーズン運動できる屋内空間の導入
- フィットネススペース、高齢者サロンなど
- ・子育て世代も安心して利用できる室内空間の導入
- キッズスペース

温泉

〈ウェルネス棟〉

安全性確保と環境に配慮した再整備
・施設老朽化に伴う建替えと露天風呂の整備

- ・木質チップによるバイオマスボイラーを主たる熱源として導入
- ・外にバレルサウナ/テントサウナ、外気浴スペース等の確保と連携

宿泊

〈宿泊棟 A/B・テレワークセンター〉 利便性と滞在客への魅力の向上

- ・客室の洋式化などバリアフリーやインバウンドに配慮した整備
- ・トイレ・シャワーの設置・照明のLED化等による利便性の向上
- ・白鷹町の自然や既存空間の特徴を生かした空間設計
- ・スマートチェックインやIoTによる施設管理などデジタル技術の活用

食

〈研修棟・もりもりハウス〉 施設規模に応じた効率的な運営による食と健康の場

- ・地域の食材を活用した健康に資する食事の場としての機能
- ・子どもたちの食育の場としての機能
- ・引き続き大規模な会議等にも対応可能な利用効率の高い施設への整備
- ・調理室の集約化による効率化

5

エリア別再整備計画 ①

建替 ウェルネス棟

機能：健康増進・レクリエーション・温泉

再整備の
ポイント

町民保養センターとウェルネスツーリズムの拠点

老朽化

- ・安全性、将来の保全経費の観点から、集約化・コンパクト化に資する建替を行います。
- ・建替に際し、駐車場からエントランスにかけフラットに整備することによりバリアフリー化を進めます。また、レストラン・調理室の機能は研修棟へ集約し、ゆとりのある湯上りスペースを確保します。

ウェルネス

- ・温泉、サウナに加え露天風呂を再建することにより、施設の魅力向上を図ります。
- ・健康増進とリフレッシュができるフィットネススペースを導入します。
- ・子育て世代も安心して利用できるキッズスペースを導入します。

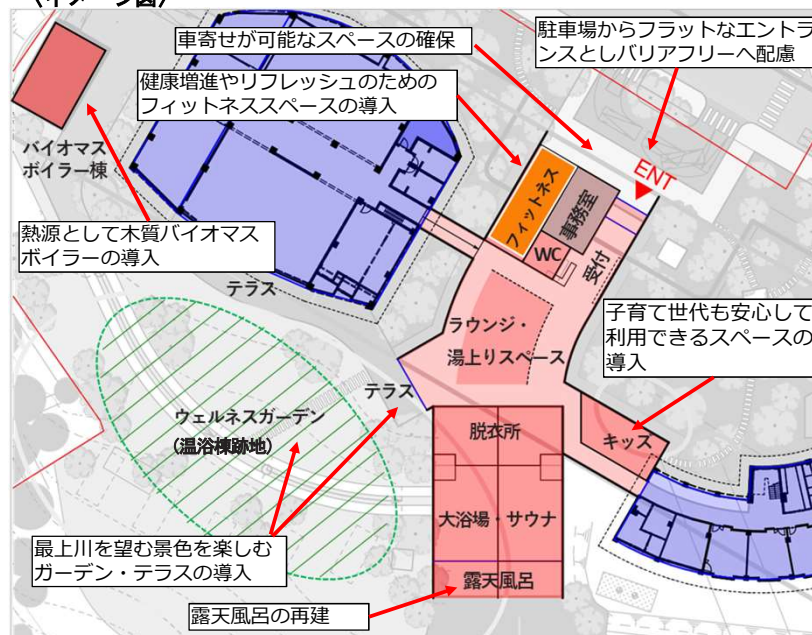
デジタル

- ・スマートチェックインやサービスロボットの導入により利用者の利便性向上やインバウンド対応、施設管理のデジタル化を計画的に進めます。
- ・デジタル化を円滑に進められるようインターネット環境の充実を図ります。

森林資源

- ・地域産材活用の推進のため木造による整備を行います。
- ・温浴施設の熱源として木質バイオマスボイラーを導入します。
- ・浴室棟跡地は、自然や景観を楽しめるスペースとします。

〈イメージ図〉



景観を楽しめる湯上りスペース・ラウンジ



自然や景色を楽しめるウェルネスガーデン



改修 研修棟

機能：食・健康増進・レクリエーション

再整備の
ポイント

機能集約と可変性のある空間確保による効率的な運営と食と健康の場の整備

老朽化

- ・改修及び設備の更新を行い長寿命化やバリアフリー化を行います。
- ・調理室を施設西側へ集約し、搬入口も一元化することにより運営の効率化を図ります。
- ・会議室(和室大)を洋室に改修し利便性の向上を図ります。また、可動式の間仕切りを設置することにより少人数の会議から100名規模の会議まで対応可能な空間とします。

ウェルネス

- ・地域の食材を活用した健康に資する食事の提供や健康をテーマとした研修会を開催することにより利用者の健康増進へ寄与します。
- ・会議室(洋室大)については、現在の浴室棟が撤去されることにより景観を楽しむことができるようになることから、食事と眺望を楽しむことができる空間として整備を行います。
- ・会議室(和室大)を洋室に改修することにより、介護予防事業（高齢者サロン）等の健康づくりに係る事業の会場として有効に活用します。

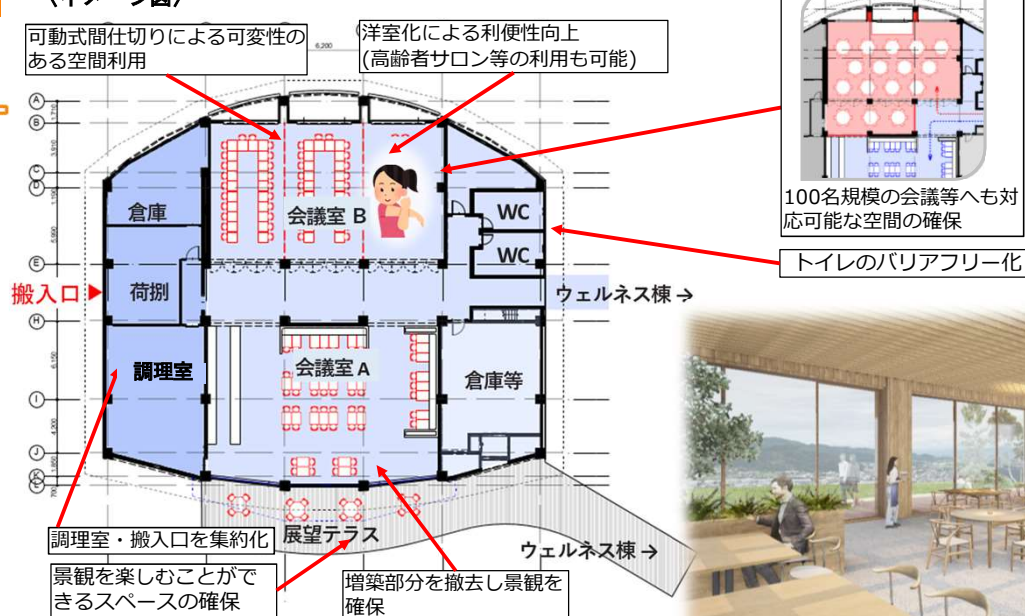
デジタル

- ・電子オーダーシステムやサービスロボット等の導入により利用者の利便性向上や施設管理のデジタル化を計画的に進めます。
- ・デジタル化を円滑に進められるようインターネット環境の充実を図ります。

森林資源

- ・内装木質化等により地域産材を活用します。
- ・展望テラスを整備し外部広場と連続した開放的な空間を確保します。

〈イメージ図〉



100名規模の会議等も対応可能な空間の確保

トイレのバリアフリー化



景色と地域の食材を楽しむスペース

5 エリア別再整備計画 ②

改修 宿泊棟A/B・テレワークセンター 機能： 宿 泊

再整備のポイント 利便性向上と地域産材を活用した寛ぎの空間

老朽化

- ・改修及び設備の更新により長寿命化を行います。
- ・宿泊棟Aについては、客室にトイレを新設し利便性の向上を図ります。また、洋室化やシャワーを設置するなどバリアフリーやインバウンドなどにも対応した客室へ改修します。
- ・テレワークセンターについては、長期滞在による利用へ対応するための改修を行います。

ウェルネス

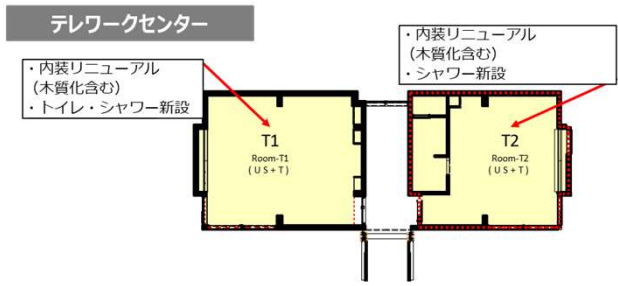
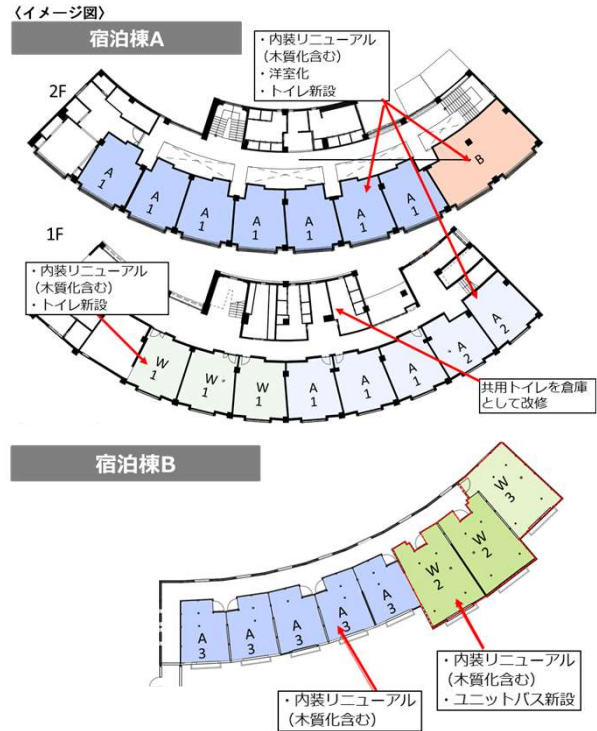
- ・ウェルネスツーリズムの重要な要素である宿泊の核として、地域産材による木質化や深山和紙等の地域の資源を活用することにより、木のぬくもりに触れることのできる空間とします。

デジタル

- ・睡眠状態を測定するデジタルデバイスやサービスロボットの導入などデジタル化を計画的に進めます
- ・デジタル化を円滑に進められるようインターネット環境の充実を図ります。

森林資源

- ・内装木質化等により地域産材を活用します。
- ・地域産材を活用した家具等を活用します。



もりもりハウス

安全面の確保などの老朽化への対応に加えトイレの洋式化など利用者の利便性やバリアフリーに配慮した改修を行います。

その他基幹設備

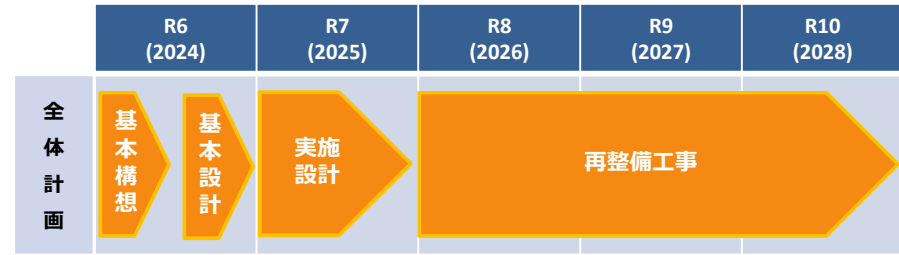
- ◆受変電設備
高圧ケーブルやキュービクル等の設備については、施設建設当初から使用しており更新を行っていないことから、再整備に合わせ更新を行う必要があります。その他の電気系統や機械設備についても、耐用年数等を踏まえ更新等を行います。
- ◆給排水施設・設備
給水施設については、給水管の老朽化が進んでいることに加え、土砂災害特別警戒区域に敷設されていることから、災害時の断水リスク解消のため配水管布設に合わせ計画的な整備を行います。
排水施設についても、老朽化や施設の利用状況を踏まえ給水施設と合わせ整備します。

その他公園施設

本構想の対象施設以外の公園内施設については、老朽化により既に使用停止としているものや破損が見られるものもあります。利用者の安全性や利便性に配慮した対応を行うとともに「地域循環型白鷹ウェルネスツーリズム」のビジョン達成のため主要施設の整備以降、計画的に改修等を実施していくこととします。

6 今後の事業計画

(1) 事業スケジュール



(2) 概算事業費について

本事業における事業規模としては、令和4年度に実施した老朽度調査において将来20年間で係る保全経費を約18億円と試算していることから、老朽化対策に資する事業費については18億円程度を目安としつつ、木質バイオマスボイラーの導入や浴室棟の建替え等新たな投資に係る事業費、物価高騰の影響も勘案し基本設計において算出を行います。

なお、国庫補助金等の有利な財源を活用することにより実質の財政負担を圧縮することとします。